



つなげよう、ふるさとのチカラ

----- 2016年度 活動報告 -----



被災3県の沿岸部の海岸林を再生させる

目標:10年間で30万本の苗木を植樹する

5年間の実績:202,682本



被災地へ従業員ボランティアを派遣する

5年間の実績: 3,003人



被災地に赴かなくてもできる支援活動を展開する 目標:10年間で30万人のイオンピープルが参加する

5年間の実績:237,905人

(2017年3月15日現在)

2012年「イオン 心をつなぐプロジェクト」 スタート



■震災から1年 2012年3月9日 全国紙で訴求

3. 11 復興への願いをカタチに

イオンは地域のお客さまと手をたずさえ、被災地の復興、 そして「夢のある未来」の実現に向け、ともに歩んで まいります。植樹活動、そしてボランティアをはじめとする 従業員30万人が復興へのお手伝い。産業の復興に向けた 生産者の方々との取り組み。

イオンはこれからも地域のお客さまとともに、未来に向かって 歩んでまいります。

2012年3月、10年間にわたる被災地の復興をオールイオン (グループ労使) で取り組むことを決定し、3つの活動を柱に「イオン 心をつなぐプロジェクト」を発足しました。

①イオン 東北復興ふるさとの森づくり (目標:10年間で30万本の植樹)

②ボランティア派遣

③各社・各地からの支援活動

(目標:10年間で30万人が参加)

2016年 東日本大震災から5年、新たなスローガンで東北の創生へ



つなげよう、ふるさとのチカラ

東日本大震災から5年。

東北の復興に、自立・成長の歩みを。 イオンは東北の元気を日本中、世界中につないでいく あたらしい応援のカタチ「にぎわい東北」を はじめます。

東北が育むすばらしい産品の数々を 全国に広がるイオンの店舗からお客さまのもとへ。 東北の想いを、東北のおいしさを、東北の楽しさを、 いままで以上に発信し続けることで、 東北にたくさんの「にぎわい」を生み出していきます。 そして、東北の元気が、日本の元気につながるように。 イオンはこれからも、東北とともに歩みを続けます。



東北の創生にむけた4つの方針

- 1、事業を通じた地域産業の活性化
- 2、雇用の創出と働きやすい環境づくり
- 3、地域の未来を「ともにつくる」環境・社会貢献活動
- 4、安全・安心にくらせるまちづくり

イオン 心をつなぐプロジェクト 10年間のロードマップ



4つ目の事業を2016年度よりスタート!!

イオン **心**をつなぐプロジェクトの新しい取り組み 「イオン 未来共創プログラム」

にぎわい東北 つなげよう、ふるさとのチカラ 東北の「創生」に向けた4つの方針の1つである 地域の未来を"ともにつくる"環境・社会貢献活動の具現化

- (1) イオン 東北復興ふるさとの森づくり
- ② ボランティア派遣
- ③ 各社・各地からの支援活動

④「イオン 未来共創プログラム」の推進

目的:人と人が繋がりを持ち、人と自然、自然と産業が共存する 持続可能な社会(地域共同体)への復興をサポートする。

/2016年度~ 2021年度 長期目標 被災地のニーズが変化する中、産業・なりわい・コミュニティの再生として、 交流を通した地域課題の解決への支援拡大 を目指す。

2016年度 植樹活動報告

2016年実績

| | 行政区 | 実施日 | 名 称 | 主催 | 本 数 |
|-----|-----|--------|---|---------------------------------------|--------|
| 岩手県 | | 6月5日 | 第28回 森は海の恋人植樹祭 | NPO法人森は海の恋人 | 60 |
| | | 3月19日 | 早馬神社鎮守の森づくり植樹祭 | 早馬神社 (公財) イオンワンパーセントクラブ | 1,348 |
| | | 5月15日 | 第4回 気仙沼大島亀山植樹祭 | 気仙沼大島観光協会 | 4,000 |
| | | 5月28日 | 第4回「千年希望の丘」植樹祭2016 | 岩沼市 | 5,000 |
| | 宮城県 | 6月4日 | 「『みどりのきずな』再生プロジェクト」 東松島市浜市地区海岸防災林植樹祭 | イオン株式会社 | 4,000 |
| | | 6月12日 | 吉田浜地区広場植樹祭 | 七ヶ浜町 | 495 |
| | | 9月10日 | 第1回のぞみ野町内会植樹祭 | イオン株式会社 | 2,000 |
| | | 9月24日 | 第5回海べの森の植樹祭 | NPO法人海べの森をつくろう会 | 2,000 |
| | | 10月1日 | 第1回宮城県亘理町植樹 | 巨理町 (公財)イオン環境財団 | 13,000 |
| | | 10月29日 | 東松島市浜市地区海岸防災林植樹式 | 東松島市 | 150 |
| | 福島県 | 3月5日 | ひろの防災緑地植樹祭 | ひろの防災緑地サポーターズクラプ 広野町 福島県富岡土木事務所 | 10,000 |
| | | 3月27日 | 第3回 南相馬市鎮魂復興市民植樹祭 | 南相馬市 | 4,400 |
| | | 4月23日 | 「『みどりのきずな』再生プロジェクト」 相馬松川浦海岸防災林植樹祭 | イオン株式会社 | 7,500 |
| | | 10月23日 | 第4回 南相馬市鎮魂復興市民植樹祭 | 南相馬市 | 2,450 |

2016年植樹合計本数

56,403本

【2012年~2016年実績】

| 年 度 | 植樹か所 | 本 数 |
|------|------|--------|
| 2012 | 3 | 19,200 |
| 2013 | 11 | 18,480 |
| 2014 | 20 | 69,317 |
| 2015 | 18 | 39,282 |
| 2016 | 14 | 56,403 |

岩手県:14か所 宮城県:40か所

福島県:12か所

延べ 66か所

5年間 植樹合計本数

202,682本

ひろの防災緑地植樹祭

3月5日(十)開催 福島県広野町

- 催:ひろの防災緑地サポーターズクラブ、広野町、福島県富岡土木事務所 ■主
- <参加者数>地域のお客さま・・・約500名、イオンピープル・・・76名
- <植樹本数>10,000本(当日5,000本)
- <植 樹 種>スダジイ、アカガシ、タブノキ、クロマツ等 8種



現在は工事中のところが大半ですが、 今後、全長2kmにわたり整備され、 将来的に6万本の木々が植樹される 予定です。







早馬神社 鎮守の森づくり植樹祭

3月19日(土)開催 宮城県気仙沼市唐桑町

- ■主 催:早馬神社 後援:(公財)イオンワンパーセントクラブ
- <参加者数>地域のお客さま・・・約160名、イオンピープル・・・47名
- <植樹本数>1,348本
- <植 樹 種>タブノキ、シラカシ、ユキヤナギ等 10種







郷土芸能「鮪立(しびたち)大漁唄込み」が 披露され、久しぶりの再会を喜ぶ方々も見受け られました。

植樹したタブノキは、ここ唐桑で拾われたタネ から育てた苗木です。



第3回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭

3月27日(日)開催 福島県南相馬市菅浜地区

■主 催:南相馬市

- <参加者数>地域のお客さま・・・約2,000名、イオンピープル・・・41名
- <植樹本数>20,000本(イオンピープル植樹分:4,400本)
- <植 樹 種>タブノキ、アカガシ、スダジイ、シラカシ等 16種

参加者の中には、子どもたちの 姿も多く見られました。 昨年、一昨年に植樹された苗木も すくすく育っており、 着実に緑が再生されていました。



除草作業報告

7月17日、8月1日・2日 東松島市矢本地区新堀向国有林

東北復興ふるさとの森づくり植樹スタートから4年が経過し、植樹地では除草など育植のための作業が増加している。

2015年6月6日植樹祭開催 面積:1.85ha 本数:7,663本

<作業方法>刈払機による下草刈

<作業者>東松島の森保全の会(14名)、株式会社グリーンアップ(4名)



2017年度 植樹活動計画

| | 県 | 市町村 | 植樹地(候補地) | 名 称 | 主催 | 実施予定日 |
|----|-----|-------|-----------------|------------------|------------------------|-----------|
| 1 | 福島県 | いわき市 | 久之浜 | 星廼宮神社鎮守の森植樹祭 | 星廼宮神社 | 3月19日(日) |
| 2 | 岩手県 | 野田村 | 三陸鉄道 十府ヶ浦海岸駅 | 三鉄 府ヶ浦海岸駅前植樹祭 | 三陸鉄道株式会社 野田村 | 3月25日(土) |
| 3 | 宮城県 | 気仙沼市 | 大島 | 大島ユズ植樹祭 | NPO法人海べの森をつくろう会 | 4月15日(土) |
| 4 | 宮城県 | 岩沼市 | 海岸部 | 千年希望の丘植樹祭 | 岩沼市 | 5月27日(土) |
| 5 | 宮城県 | 仙台市 | 田ノ神国有林 | みどりのきずなプロジェクト | イオン(株) | 6月3日(土) |
| 6 | 岩手県 | 一関市 | 矢越山 | 森は海の恋人植樹祭 | NPO法人森は海の恋人 | 6月4日(日) |
| 7 | 岩手県 | 大槌町 | 小鎚大明神 | 小鎚大明神鎮守の森植樹祭 | 小鎚大明神氏子総代 | 6月8日(木) |
| 8 | 岩手県 | 陸前高田市 | 高田松原 | 第1回高田松原植樹祭 | 高田松原を守る会 | 6月18日(日) |
| 9 | 福島県 | 新地町 | 埒浜海岸 | 新地町防災緑地 | 新地町 | 6月24日(土) |
| 10 | 福島県 | いわき市 | いわき市 | 第1回福島県いわき市植樹 | いわき市 (公財)イオン環境財団 | 9月16日(土) |
| 11 | 宮城県 | 石巻市 | 新蛇田地区 | のぞみ野町内会植樹祭 | のぞみ野町内会 | (未定) |
| 12 | 宮城県 | 石巻市 | 南浜地区 | 石巻市南浜津波復興祈念公園植樹 | 石巻市南浜津波復興 祈念公園運営協議会 | 9月23日(土) |
| 13 | 宮城県 | 亘理町 | 亘理町 | 第2回 宮城県亘理町植樹 | 巨理町 (公財)イオン環境財団 | 10月7日(土) |
| 14 | 福島県 | 南相馬市 | 原町区 | 第5回 南相馬市鎮魂復興市民植樹 | 南相馬市 | 10月22日(日) |

ボランティア活動報告 2016年度 催行回数:全12回(仙台発 3回、東京発 9回)

| 発着 | | 実施日 | 人数 | 内容 | 場所 |
|----|---|------------|-----|---|------------------------|
| 仙台 | 1 | 4月13日-14日 | 24 | 海岸防災林再生のための植樹 | 相馬市松川浦 |
| 東京 | 1 | 6月8日-10日 | 31 | 1日目:草刈り、倉庫内片付け 2日目:除草 | 南相馬市小高区 |
| 東京 | 2 | 6月24日-26日 | 31 | 1日目:公園の草刈り、清掃 2日目:コットン畑の草取りと補植 | 南相馬市小高区 双葉郡広野町 |
| 仙台 | 2 | 7月6日-7日 | 15 | 玉切り、トン袋詰め、家財搬出 | 南相馬市小高区 |
| 東京 | 3 | 7月13日-15日 | 18 | 1日目:個人宅草刈り 2日目:公園草刈り | 南相馬市小高区 |
| 東京 | 4 | 7月27日-29日 | 16 | 1日目:個人宅草刈り、庭土運搬 2日目:公園草取り | 南相馬市小高区 双葉郡広野町 |
| 東京 | 5 | 9月7日-9日 | 29 | 個人さま宅草刈り | 南相馬市小高区 |
| 東京 | 6 | 9月14日-16日 | 26 | 不用品片付け、草刈り | 南相馬市小高区 |
| 仙台 | 3 | 10月5日-6日 | 25 | 海岸防災林植樹、苗木作り | 宮城県亘理町 |
| 東京 | 7 | 10月14日-16日 | 40 | 1日目:草刈り、庭木剪定、家具移動 2日目:ガーデンハックルベリー収穫作業手伝い | 南相馬市小高区 南相馬市鹿島区 |
| 東京 | 8 | 10月26日-28日 | 36 | 1日目:草刈り、庭木剪定、家具移動 2日目:コットン収穫作業手伝い | 南相馬市小高区 双葉郡広野町 |
| 東京 | 9 | 11月9日-7日 | 47 | 1日目:草刈り、庭木剪定、家具移動 2日目:ガーデンハックルベリー収穫作業手伝い | 南相馬市小高区 南相馬市鹿島区、原町区 |
| | | 合 計 | 338 | | |

ボランティア

- <活動内容>草刈り、清掃、コットン畑の補植
- <活動場所>南相馬市小高区、双葉郡広野町
- <参加者数>31名(事務局含む)

東京発 第2回(6月24日~26日)



ボランティア活動報告

<活動内容>個人宅(2軒)屋内不用品片付け、草刈り

東京発 第6回(9月14日~16日)

<活動場所>南相馬市小高区



<活動内容>個人さま宅の草刈り、庭木剪定、 個人さま宅の家具移動、ガーデンハックルベリー収穫

東京発

第7回(10月14日~16日)

<活動場所>南相馬市小高区、鹿島区

<参加者数>40名(事務局含む)





40名精一杯の力で一日がかりの作業でした。 活動終了時の「いつかここに戻ってきます。」との家主さまの言葉が 嬉しかったです。



「ガーデンハックルベリー」は、この協会の理事長が 避難先で出会ったものです。南相馬に新たな特産物 を、ということでジャムなどの加工品を開発してい ます。

受入団体: (一社)ガーデンハックルベリー協会

参加者の声

(ボランティアアンケートより抜粋)

- ・現実は、テレビや新聞で見聞きするのとは違うと感じました。
- ・復興はまだ遠いと感じました。
- 普段話す機会のないイオングループ内の方と交流を 図ることができてよかったです。
- 今後もこのボランティアに年に一度は参加したいと思います。
- 多くの人に今回の話をし、参加者を増やしたいと思います。
- ・南相馬の続行を強く望みます。更に陸前高田が2012年 以降どうなっているのか知りたいです。
- 福島と他の県の復興の進み具合や地域の状況を知ることも勉強になるのではないかと感じました。
- ・以前ボランティアで入った気仙沼や陸前高田が今、どのようになっているか見に行きたいです。コースの復活を望みます。
- ・東北以外の被災地(熊本や台風10号の被害があった ところ等)にもボランティアで行きたいです。
- •自社で (被災地に対して) できることを考えていきたい と思います。
- 語り部の方のように、地域の皆さんと何らかの方法で つながりを作りたいと思います。

今年度は昨年度までと比較し、「岩手・宮城ツアーの 復活を望む」、「東北の被災地以外への支援希望」、 「会社として地域とつながりたい」との声が多くありました。

2017年度 ボランティア活動計画

| | + · · + · | |
|--------|------------|-------|
| 発 着 | 期間 | 活 動 地 |
| 第1回 東京 | 4月26日-28日 | 福島 |
| 第2回 東京 | 5月17日-19日 | 福島 |
| 第1回 盛岡 | 6月7日-8日 | 大槌 |
| 第1回 仙台 | 6月16日-18日 | 陸前高田 |
| 第3回 東京 | 7月7日-9日 | 福島 |
| 第2回 仙台 | 7月21日-23日 | 気仙沼 |
| 第4回 東京 | 9月8日-10日 | 福島 |
| 第5回 東京 | 9月27日-29日 | 福島 |
| 第2回 盛岡 | 10月18日-19日 | 釜石 |
| 第3回 仙台 | 10月25日-27日 | 気仙沼 |
| 第6回 東京 | 11月8日-10日 | 福島 |

<活動内容> ※現地受入団体と調整中

- ボランティアセンターを通じての活動
- 植樹活動
- 育樹作業
- •海岸清掃作業
- 農作業の手伝いなど

2017年度 ボランティアツアー参加者募集

催行回数:全11回

全国のイオンピープルを対象に、社内ボランティアを継続します。

【東京発】福島県南相馬市・いわき市・亘理町ツアー 6回開催

【仙台発】岩手県陸前高田市・気仙沼市ツアー 3回開催

【盛岡発】岩手県大槌町・釜石市ツアー 2回開催

(ただし大槌町・釜石市ツアーについては東北地区で勤務されている方限定プランです。)







2016年度 グループ各社の主な活動

■イオンモール株式会社

○**小野駅前郷プロジェクト おのくん制作応援** 年間参加人数:イオンピープル 3,882人、お客さま 3,193人 実 施 場 所:全国のイオンモール 一部店舗除く



2014年度から宮城県東松島市生 まれのソックモンキー「めんどく しぇおのくん」の材料、靴下等を 集め支援する活動を継続実施。 2016年度に集めた「おのくん」材 料は靴下7,761足、中綿1,084袋、 目玉112袋。また、おのくんの制 作・販売、おのくんが里帰りでき る場所「空の駅」を支援する活動 もおこないました。

○東松島スタディツアー 11月3日~5日 イオンモール従業員が被災地である東松島を 訪問し、今後の支援を考えるため、労使一体 でスタディーツアーを開催しました。

○おのくんキャラバン in 熊本

7月23日、被災地「イオンモール熊本」に支援 のお礼として東松島からおのくんキャラバン隊 が応援に駆け付けました。



○ステッチガールズワークショップ

8月6日~7日、12月5日~11日、イオンモール石巻とレイクタウンで、 宮城県から元気を届けるステッチガールズの皆さんがワークショップを 開催。高校生が活動する「写真で伝える被災地」展示も実施。

○なすびさん、エベチャレ活動

福島県出身のタレントなすびさんが復興支援登山でエベレストに登頂。 その報告会を8月12日イオンモール幕張新都心にて開催しました。

○津波防災の日パネル展

11月1日~11月30日、「津波防災の日」に合わせ、全国のイオンモール 50店舗にて、防災意識を高めるための写真パネル展を開催しました。

■イオンクレジットサービス株式会社

○七ヶ浜町ボランティアツアー

10月1日仙台事務センターの従業員が「七ヶ浜町 なならぼ農園」で農地の草刈り、整地のお手伝いを しました。

○BOOK募金2016

10月17日~1月30日、従業員全員が取り組める 活動として「BOOK募金」を実施。目標を上回る 1,642人が協力しました。



○自社で進める未来共創プログラム実践キックオフ活動

11月1日~2日、交流を通じて被災地に貢献する活動として、岩手県大槌町 の視察を実施。復興状況を地元の方から聞き、大槌町の農園のお手伝いをし ました。今後、自社で復興支援にどうかかわっていくかのグループワークをおこない ました。

○復興マルシェ&語り部の会

1月18日、労働組合大会にてNPO法人 遠野まごころネットの臼澤理事長よりお話 を伺いました。「復興マルシェ」も開催し、 被災地産品を購入し、『買って支援』で 応援しました。



○サンタが100人やってきた!

12月24日、遠野まごころネットが開催する「サンタが100人やってきた!」プロ ジェクトに参加。出発前の朝礼にて1年間従業員が協力した募金とBOOK 募金の贈呈式をおこないました。



○復興ぞうきん2016

1月1日~2月28日、針仕事の得意な被災者の方々が手縫いで作る、ぞうきん の材料となる新品のタオルや縫い糸を集めて寄付しました。

■株式会社 イオンフォレスト

○東日本大震災復興支援プロジェクト「healthaid(ヘルセイド)」イベント協力

5月21日、東日本大震災及び原発事故により、現在も首都圏で避難生活を余儀 なくされている方々(県外避難者)約18,000人を対象に「同郷者との再会」「仲 間づくり」の『場』の提供を目的におこなうイベント「第37回 こっちゃ来たらいいべぇ」 で、ハンドトリートメントを担当し、交流をしました。





○「サン・ファン石恋まつり♡」にブース出展

7月18日、ザ・ボディショップ復興支援グッズ製作パートナーの一つ、NPO法人石巻 復興支援ネットワークの主催する「サン・ファン石恋まつり♡」にハンドマッサージのブー ス出展協力をし、被災地石巻・東松島・女川の地元市民を応援しました。





○"ザ・ボディショップ復興支援グッズ" 製作パートナーとの現地交流会@石巻 7月17日、昨年に続き、製作パートナー との交流会を実施。スタッフによるハンド マッサージをおこない、日頃の労いと感謝 の気持ちを伝えました。



■ブランシェス株式会社

○宮城県東松島市 おのくん「めんどくしぇ祭り2016」ブース出店

5月1日、「めんどくしぇ祭り2016」に -ス出店をしました。いずれも好評 で、出店内容は、

①おのくん用帽子の飾りつけワークショップ ②ブランシェススタッフがお家で作成した、

おのくん用服飾雑貨のチャリティ販売 ③女川出身カメラマン、齋藤伸による 記念撮影 の3つで活動しました。



○「小さな小さなクリスマス会」

ワークショップ実施

12月10日、3年前から継続支援をしている岩手県気仙郡住田町のクリスマス 会に今年も参加。支援のお返しとして、熊本の子どもたちヘクリスマスプレゼントを 送りたいと依頼があり、ワークショップで作成して送りました。





■株式会社カスミ

○陸前高田七夕まつり体験学習2016

8月6日~8日、2泊3日で陸前高田七夕まつりに参加。店舗近隣の小学生30 名と新入社員227名が、前日の準備から当日の山車引き等に参加し、祭の 支援活動をおこないました。

○陸前高田復興支援カレンダー

11月~3月、陸前高田の子供たちの カレンダーを作成。カスミ店舗にて募金 活動を実施。3月23日、集まった募金 を「陸前高田小中学校復興 基金」に 寄付しました。



■株式会社 光洋

○語り部の会 4月11日 参加人数 161人 2016年度新入社員オリエンテーションのプログラムに組み込み従業員向け『福島の現状を知る、語り部の会』を開催しました。





○東日本大震災復興支援募金

第一弾: 9月5日~9月30日 参加人数 3256人 第二弾:12月5日~2月10日 参加人数 2835人

店舗で従業員とお客さまから「東日本大震災復興支援募金」を募りました。

○東日本大震災支援チャリティーバザー 9月20日~10月20日 参加人数 48人 本社従業員を対象に、生鮮品を除く家庭で 使用しなくなった未使用の物を出品依頼し、 バザーを実施しました。

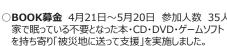


■イオンリートマネジメント株式会社

- ○NPO法人海辺の森を作ろう会講演会 4月11日 参加人数 30人 NPO法人海べの森をつくろう会より、元イオン気仙沼店副店長の斎藤光代さん をお招きして、従業員を対象に講演会を開催しました。
- ○**B-1グランプリなみえ焼きそば食べて支援** 講演会の後、B-1グランプリを受賞した「なみえ 焼きそば」をみんなで作って食べ、支援をしました。



4月21日~5月20日 参加人数 15人 従業員からタオルと手縫いぞうきんを制作する為 の材料を募集。一般社団法人SAVE IWATE に送付して活動を支援しました。







■イオンビッグ株式会社

○イオンビッグマスコットプロジェクト 通年実施参加人数 1046人 全店で生地を回収、回収した生地をまごころ 就労センターへ寄付し、復興のハードルが高い であろう障害をお持ちの方の就労を支援しま した。

○**設立5周年東北商材販売プロジェクト** 8月度 参加人数 25人 従業員が定期的に東北へ赴き交流を重ね、 東北商材を積極的

に商品化し、「東北 被災地支援」として、 店舗で販売しました。





○ザ・ビッグ高月店 東北復興支援募金 3月1日~3月20日 参加人数 150人 高月店独自の発案で、「復興支援・従業員募金」を進め、被災地へ支援しました。

■イオンアイビス株式会社 ■イオンドットコム株式会社 ■イオンマーケティング株式会社

○防災意識を高めよう&おのくんのエサ集め 9月14日~15日 参加人数112人 イオンアイビス(株)、イオンマーケティング(株)、イオンドットコム(株)の3社とイオンリテールワー カーズユニオン共催で「防災意識を高めよう防災講習会&おのくんのエサ集め」を実施しました。





■オリジン東秀株式会社

○「小高に花を咲かせよう」寄付金贈呈式

4月3日 参加人数6人 2015年に「作って食べて復興支援」と「オリジン BOOK募金」の2つの活動を実施。集まった寄付 金をJR常磐線開通に先駆けおこなわれた 「小高に花を咲かせよう」にて贈呈しました。

○2016復興創生ファーストステージ 6月21日~22日 参加人数 8人 現地ニーズに即した復興支援に取り組むため、 実際に福島県南相馬市小高区で視察をおこないました。今後は、ディスカッションの内容をもとに具体的な支援内容を実行していきます。



○おだか秋祭り露店出店 10月14日~16日 参加人数21人 6月に小高を視察をした際、現地の方々よりおだか秋祭りへの参加要請を頂き、社内 初の露店を出店しました。また、露店運営と同時進行で、経営幹部と共に残存する 被災現場の視察をおこない、祭だけでは見えない被災地の現状について、理解を深めました。





○オリジンBOOK募金 9月20日~11月19日 参加人数 700人 全従業員参加型の被災地支援として、昨年度に引き続き、「オリジンBOOk募金」 を実施しました。集まった2,211点の古書は、未来屋書店さまに買取いただきました。 買取金額は、「おだか秋祭り」の活性化資金として『小高商工会』に、小高駅前に 植えたシバザクラの剪定費用として、『小高を応援する会』にそれぞれ寄付をいたしま した。

■イオンマーケット株式会社

○本だなチャリティ贈呈式 4月3日

2015年に「本だなチャリティ」を実施した結果、383冊が集まり、募金に変えることができました。協力してくれた従業員の気持ちを届けに、4月3日、小高へ行き、目録を届けました。当日は、避難解除後、小高に帰る方々を元気づけるため小高駅周辺にシバザクラを植える「小高に花をさかせよう!」のイベントがおこなわれ、イオングループ東北4社の新入社員たちと一緒に、植栽の手伝いをしました。募金は、この植栽の手入れ等に役立てていただきます。





○**身近にある物で小高を応援しよう!** 9月1日~9月30日 参加人数 30人 「身近なモノで小高を応援 本&etc.でチャリティ」を実施しました。今回は、読 み終わった本、DVDやCD、ゲームソフト等のディスク、書き損じ葉書の提供 を募り、売上金を寄贈させていただきました。



■株式会社 コックス

○さくら並木プロジェクト 植樹会参加 実施日:3月26日 参加人数:4人

福島県相馬郡新地町にておこなわれた「さくら並木プロジェクト植樹会」に参加しました。

○東北コットンプロジェクト 収穫祭

実施日:11月26日 参加人数:5人 宮城県松島市の農場で実施された「東北コットン プロジェクト2016収穫祭」に参加しました。 収穫祭で、収穫された綿の一部は当社から発売 予定です。

○さくら並木プロジェクト 常磐線開通記念植樹会 実施日:11月27日 参加人数:4人 宮城県亘理郡山元町にて開催された「さくら並木 プロジェクト」の常磐線開通記念植樹会に参加し、 復興の植樹を実施しました。



■イオンリテール株式会社 北関東・新潟カンパニー

○復興支援「気仙沼エンピップロジェクト」

開催日:3月1日~12月8日 参加人数:656人 従業員とお客さまからエンピツで募金をして頂き、狭山店・武蔵狭山店・入間店の3店舗で1400本の鉛筆が集め、気仙沼市内の小学校に直接持参し、贈呈しました。





■イオンカルチャー株式会社

○くるみボタン材料支援

実施日:10月11日~3月7日 参加人数:48人被災地の障害をお持ちの方を支援するため、生地を回収し寄贈しました。さまざまな種類の生地が集まり、2017年3月にまごころ就労センターさまに寄贈することができました。

■ミニストップ株式会社

○花の輪運動:贈呈式 実施日:10月21日 参加人数:6人 ミニストップは、1991年より毎年、花と緑の農芸財団さまと協力して、希望のあった 小学校に花の苗を贈呈しています。贈呈900校を代表して、被災地である宮城県 仙台市立人来田小学校で贈呈式をおこないました。





■イオンペット株式会社

○チアーズクラブ×イオンペット×東北復興支援プロジェクト

実施日:6月25日、8月4日、9月24日、10月22日、11月19日、11月13日

参加人数:19人

イオンチアーズクラブ所属の子供たちに、「動物」をテーマに東日本大震災、被災動物の現状を伝え、特定非営利活動法人SORAアニマルシェルターへ送るための「犬小屋」「猫の爪とぎ」などを作成して送りました。





■イオンディライト株式会社

■イオンディライトセキュリティ株式会社

○災害時、AED体験会

実施日3月6日 参加人数:10人 イオンモール石巻にて地域の緊急時対応力の 向上を目的として、来店いただいた地域のお客 さまを対象に「AED体験会」を開催しました。



2016年度 各支援活動ごとの取り組み

●「福島ひまわり里親プロジェクト」活動

■イオンタウン株式会社

開催日:5月~12月 参加人数:456人

全国のイオンタウン・ショッピングセンターの敷地内・関係施設にて「復興のシンボル」のひまわりを栽培し、被災地を支援する人の輪を広げる活動をおこないました。各地で育てた「ひまわりの種」と「復興への願い」を持って12月18日、イオンタウン須賀川(福島県須賀川市)にて贈呈式を開催。合計 46kg ものひまわりの種を贈呈することができました。



■イオンリテール株式会社 南関東カンパニー



■マックスバリュ中部株式会社

開催日:5月~11月 参加人数:310人

「福島ひまわり里親プロジェクト」活動に賛同して、ひまわりの種を購入し、 里親となってくれる従業員を募りました。それぞれの家庭もしくは職場で 育てて採れた種を「福島ひまわり里親プロジェクト」までお送りしました。



●「復興ぞうきん・園児エプロン」活動

■マックスバリュ北海道株式会社

開催日:10月1日~10月31日参加人数:1,724人 昨年に引き続き「園児エプロン」と「復興 ぞうきん」の両プロジェクトへ、タオル募集を おこなうとともに、東北の産品を購入して

応援しました。

■リフォームスタジオ株式会社

開催日:1月 参加人数:20人 4店舗と本部から、糸きりはさみ 20本 チャコ20枚 縫い針150本 タオル70枚 定規、その他裁縫資材等集め、被災地 支援として、現地に送りました。

■イオンリートマネジメント株式会社

開催日:4月21日~5月20日 参加人数:15人



■イオンエンターテイメント株式会社

開催日:11月30日 参加人数:227人 昨年に引き続き「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加。従業員から参加者を募ったところ、昨年の倍以上の里親が集まりました。栽培したひまわりの成長の様子を社内報で紹介し、活動の周知をはかりました。今年は天候の影響もあったのか、昨年より花が小さかったり種の収穫まで至らなかった等、課題は残りましたが、最終的に約2.5kgの種を採取することができました。

イオン船橋チアーズクラブでは自分たちが出来るボランティアはない かを考え「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加しました。今回で

3年目の参加となり、大きな花が咲いた後、種を収穫しました。

参加人数:10人

開催日:6月5日~8月20日

● 「BOOK募金」活動

BOOK募金は、家庭で不要となった本、CD、DVD、ゲームソフトなどを、運営会社に 送り、仕分け・査定したうえで、買い取り相当額を指定した慈善団体等に寄付す る社会貢献活動です。イオン心をつなぐプロジェクトでは、グループ各社がBOOK 募金を通じてNPO法人遠野まごころネットを支援し、岩手県沿岸被災地の支援 活動全般に活用しています。

BOOK藝金

BOOK募

参加会社

- ■イオンリテール株式会社中四国カンパニー 10月1日~31日 参加人数 450人
- ■株式会社サンデー

1月16日~2月11日 参加人数 1,120人

- ■イオン琉球株式会社
- 1月10日~2月10日 参加人数 377人
- ■イオンリカー株式会社
 - 6月20日~8月20日 参加人数 80人
- ■イオンクレジットサービス株式会社
- 10月17日~11月31日 参加人数 1,642人
- ■株式会社イオン銀行
- 8月1日~8月31日 参加人数 112人 ■イオンプロダクトファイナンス株式会社
- 4月中旬~5月中旬 参加人数50人
- ■イオンフィナンシャルサービス株式会社 10月15日~11月30日 参加人数 50人
- ■イオンリートマネジメント株式会社 4月21日~5月20日 参加人数 35人
- ■株式会社ジーフット
 - 7月18日~9月12日 参加人数 61人
- ■ローラアシュレイジャパン株式会社 6月1日~2月28日 参加人数 47人
- ■クレアーズ日本株式会社 8月、2月 参加人数 8人
- R.O.U.株式会社

8月1日~31日、1月21日~2月20日 参加人数 313人

- ■株式会社生活品質科学研究所
- 8月15日~9月15日、10月13日~10月15日参加人数 150人 ■イオントップバリュ株式会社

8月15日~9月15日、10月13日~10月15日 参加人数 150人

■イオングローバルSCM株式会社 8月15日~9月15日、10月13日~10月15日参加人数 150人

●震災を忘れない「被災地からの語り部」活動

■イオン北海道株式会社

開催日:11月2日 参加人数:546人 福島県いわき市から語り部をお招きし、震災時の 体験談と、とっさに判断することの重要性や人命 の尊さ、震災の教訓について、講演いただきました。



開催日:8月6日 参加人数:90人

震災発生時における「お客様・従業員被災ゼロ」の対応について震災発生時 における、流通業としての使命・役割についてお話しいただきました。

■マックスバリュ関東株式会社

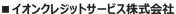
開催日:10月12日 参加人数:155人

「南相馬市小高地区の現状と今後」を小高ワーカーズベースさまにお話し頂き、

現場を知り今後の取り組みを考える会を実施しました。

■株式会社 マルエツ

開催日:11月24日 参加人数:503人 NPO法人海べの森をつくろう会より、元 イオン気仙沼店副店長の斎藤光代さんを お招きし東日本大震災あの日の判断・行 動を振り返って、今伝えたいことをお話しい ただきました。



開催日:11月18日 参加人数:90人 NPO法人遠野まごころネットの理事長より、 「大槌町の復興状況と今後の課題」につい てお話を伺いました。

■株式会社 イオン銀行

開催日:10月21日 参加人数:80人 震災当時の様子、気仙沼店再開までの舞 台裏、その中から学んだ教訓について学びました。

■イオンリートマネジメント株式会社

開催日:4月11日 参加人数:30人

■株式会社光洋

開催日:4月11日 参加人数:161人



「本だなチャリティ」は従業員の家庭で不要になった本を、㈱未来屋書店が運営する 本のリサイクルを利用して買い取ってもらい、買い取り金額を各社が支援したい団体 に寄付をする活動です。

参加会社

■イオンライフ株式会社 11月~2月末 参加人数 12人

●「本だなチャリティ」活動

■オリジン東秀株式会社

9月20日~11月19日 参加人数700人

■イオンマーケット株式会社 9月1日~30日 参加人数 30人



●「小高に花を咲かせよう」活動

実施日:2016年4月3日(日)

実施場所:福島県南相馬市小高区 JR小高駅前

参加人数:地域のお客さま 15人、イオンピープル 166人

南相馬市小高区のJR小高駅前において「小高に花を咲かせよう」の植栽 イベントを開催しました。小高区は福島第一原子力発電所の事故により、 避難指示が出されました。2016年7月12日に避難指示が解除され、不通と なっていた J R 常磐線小高駅が再開される前に花を植え、小高区の方々

をきれいな花でお迎えしよう と企画したものです。 東北のイオングループ4社 ((株)サンデー、マックスバ リュ南東北(株)、イオンスー パーセンター(株)、マックス バリュ東北(株)) の新入社員 110名と先輩社員が集まり、 シバザクラ苗の植栽とミック スフラワーの種まきをおこな いました。

● 「サンタが100人やってきた!」活動

寂しい思いをしているだろう子供どもたちに、プレゼントと笑顔を送りたいと、岩手県沿岸 部の被災地でボランティアが扮する100人のサンタクロースがクリスマスプレゼントを配る 活動です。

■イオンリテール株式会社東海・長野カンパニー

活動日:11月1日~30日 12月25日 参加人数:6,521人 イオンリテールワーカーズユニオンと共同で「サンタが100人やってきた!」の従業員募金 を11月の1ヶ月間おこない、集まった募金を12月にNPO法人遠野まごころネットに 贈呈しました。



■イオン九州株式会社

活動日:12月11日、12月25日 復興支援グッズの販売収益金で被災地にクリスマスプレゼントを贈る「まごころサンタ」の 活動を実施しました。今年の「まごころサンタ」ボランティア訪問活動は、岩手県の「釜石」 と熊本県の「益城テクノ仮設団地」の2ヶ所でおこないました。



■イオンクレジットサービス株式会社

○サンタが100人やってきた! 12月24日 遠野まごころネットが開催する 「サンタが100人やってきた!」プロジェクトに

出発前の朝礼にて1年間従業員が協力した 募金とBOOK募金の贈呈式をおこないま



TON TO WN

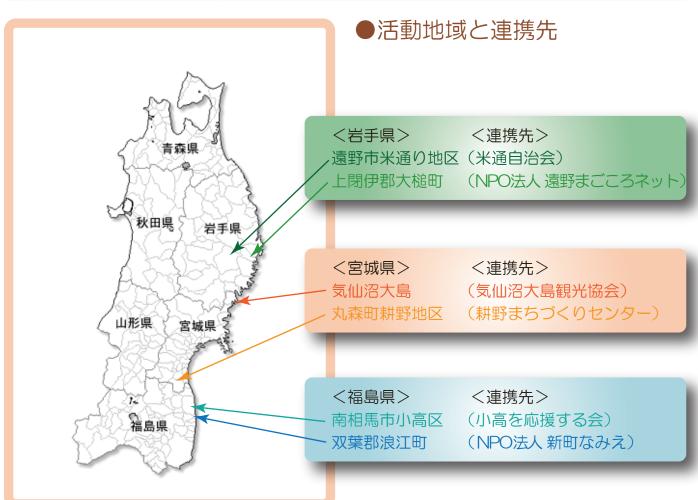


2016年度 イオン 未来共創プログラム

被災地のニーズが変化する中、産業・なりわい・コミュニティ再生として、 交流を通した地域課題の解決への支援拡大をめざす。

- ●2016年度は、グループ各企業労使の45組織、136人が参加。
- ●2017年度は、昨年参加企業は自立的に地域支援を進め、新規参入の各企業労使を 支援拡大する。

| | 活動地 | 取り組みのテーマ |
|---|--------------------------|-------------------------------|
| 1 | 「米通コース」 岩手県遠野市米通地区 | 限界集落地域の永続化に向けた挑戦への支援 |
| 2 | 「釜石・大槌コース」 岩手県上閉伊郡大槌町 | 被災地での地域産業創出と就労支援事業 |
| 3 | 「気仙沼大島コース」 宮城県気仙沼市大島 | 震災を乗り越えた島で、新しい価値を掘り起し、島の観光再生へ |
| 4 | 「丸森コース」 宮城県丸森町耕野地区 | 原子力災害による風評被害と地元の産業再生支援 |
| 5 | 「浪江町コース」 福島県双葉郡浪江町 | 原子力災害による浪江町が見舞われた問題をともに考える |
| 6 | 「小高コース」 福島県南相馬市小高区 | 「人口ゼロからのまちづくり」支援 |



岩手県遠野市米通地区

テーマ: 限界集落の持続化に向けた挑戦への支援

「結の郷 米通」

持続可能な限界(の無い)集落を目指して

平均年齢70歳超、全戸数7世帯の「米通」が被災地復興のモデルになる。 「結(ゆい)」とは、最後まで助けること。決めたことはすぐやるという意味。 7世帯の集落が存続にむけた取り組みをおこなっています。



~八百万の神とともに生きる~

毎年、田植えが終わると田の 神様に変わらぬ収穫をお願い します。

そして師走には、山の神様に 一年の無事を感謝します。

祭りも水車づくりも、誰のため でもなく住民が自ずからおこ ないます。

イオン 未来共創プログラム第2回「遠野米通コース」

期 間:9月27日~9月29日

参加者: 7名(事務局3名)

(株) メガスポーツ・メガスポーツ労働組合 2名

• (株) <mark>サンデー・オー</mark>ルサンデーユニオン 4名

スーパーセンター(株)1名





「いいたて雪っ娘かぼちゃ」の収穫作業

米通では、福島県飯館村の特産品雪っ娘かぼちゃの 代理栽培をはじめてから4年目となります。今年も、 継続して苗を植え付け、500個のかぼちゃを収穫 することができました。

収穫したかぼちゃはイオンスーパーセンター南相馬店 で販売されることになりました。

■イオンスーパーセンター(株)の取り組み 「いいたて雪っ娘かぼちゃ」が店頭へ

【収穫したかぼちゃを南相馬店で販売】

イオンスーパーセンター(株)の協力により、JAを通じて南相馬 で販売しました。

お客さまの中にも飯館ゆかりの方が多く大変好評でした。





【米通「いいたて雪っ娘かぼちゃ」の 販売実績について】

2016年10月21日~10月30日 期間 数量 522個 (一玉・1/2・1/4)

*2017年度は前年度の2倍以上の販売を目標 にしています。

参加企業の取り組み・ヒアリング

- ■(株)サンデー
- ■オールサンデーユニオン



- •従業員研修としての農業体験をとおして、店で 扱っている道具や機械の使い方を現場で学ぶ。
- 労使で地域課題を解決する「教育プログラム」 の場として利用する。
- サンデー独自の宅配便システム「SUN急便」 の運用を開始する。
- ・米通で生産された野菜を地元遠野のサンデー 宮守店で販売する。

労使での取り組み 2015年度

- 寄贈品(米通り)
- ・刈払機チップソー20枚
- ·混合燃料
- 寄贈品(ブドウ園)
- ・赤レンガ600個
- ·動力噴霧器





労使での取り組み 2016年度

2チームに分かれてボランティア活動の実施 ①稲刈り・水路作り ②かぼちゃのへた取り



参加企業の取組み・ヒアリング

- ■(株)メガスポーツ
- ■メガスポーツ労働組合
- ~ 世代を超えて「人が集まる場」へ~
- 米通の豊かな自然をアウトドアスポーツで広める。 プログラムで考えたメニュー
- ファミリーをターゲットにした施策 キャンプ体験・農業体験
- キッズをターゲットにした施策 ツリーイング(木登り体験)
- 女性をターゲットにした施策 森林セラピー体験
- アウトドア上級者向け施策スノートレッキング・雪中キャンプ体験

未来共創プログラムのアイディアを実現

■(株)メガスポーツ・メガスポーツ労働組合 「アウトドアワールド遠野」 チャレンジ

期 間:2016年2月8日~2月10日

参加者: 地元のお客さま 22名 イオンピープル 6名

2016年6月と9月に遠野市米通にボランティアで参加した際に、現地の方から県内県外の多くのお客さまに遠野市に来ていただきたいという要望があり、㈱メガスポーツとしてスポーツを通じて社会貢献が出来ないか社内で検討いたしました。

遠野市の素晴らしい四季折々の自然をたくさんの方に体験 していただくために、「アウトドアワールド遠野」をつくる ことを目指しています。

冬の季節にはスノートレッキングを通じて自然を体験していただきたく、現地の方たちとフィールド検討会を実施いたしました。

腰まである深い雪の中で動物の足跡を見つけたり、野生 の鹿などに遭遇して素晴らしい体験ができました。この 結果をもとに早速、スノートレッキングツアーを計画します。

今後は1年を通じて、ビギナーズキャンプやカヤック、SUP (スタンドアップパドルボード) などのイベントを遠野市の皆さまと共同で県内外のお客さまに知っていただけるように取り組んでまいります。







岩手県上閉伊郡大槌町

テーマ:被災地での地域産業創出と就労支援

被災地復興計画の影

NPO法人遠野まごころネットの臼澤代表は、住宅再建が遅れ、仮設 住宅での生活は、後3年続きそうだと話されています。

それまでに多くの町民が町を離れ、新しくできた町に住む人はわずか になってしまいます。

真のコミュニティ再建とまち全体の復興に至る道のりは厳しいといえ ます。





ひょっこりひょうたん島

大槌湾に浮かぶ蓬莱島、シンボルの赤灯台 には再び灯りがともされたが、町の未来にも 希望の光が必要です。

第1回「釜石・大槌コース」





<プログラムの内容>

- 遠野米通地区に学ぶ。
- 大槌町の復興の現状を知る。 NPO法人遠野まごころネット 臼澤理事長より
- 大槌町の地域行事を体験する。 小槌神社秋祭り前の社殿の大掃除。
- 金沢地区で「ニンニクスプラウト」を栽培し特産品化 しようとするグループの皆さんと意見交換。
- 「大槌助け合いセンター」を活用した、地域の活性化 の事例見学。



イオン 未来共創プログラム第1回「釜石・大槌コース」

期 間:9月7日 ~ 9月9日 参加者:6名(事務局3名)

した。

・イオンタウン(株)・イオンタウンユニオン 3名・イオンイーハート労働組合 1名

・イオンリテール (株) 東海・長野カンパニー・ イオンワーカーズユニオン東海・長野グループ 2名

大槌町の内陸部、金沢地区において農業でまちに 活気を呼び戻そうとする婦人グループと交流しま

- ・大きな課題は現地の労働力不足で、思うような 作付けに踏み切れないことでした。また農業の活 性化につながるような作物も絞り込むことが出来 ずに苦労している様子が伺えました。
- ・8月30日の台風10号により、岩手県北部では 被害が収束せず、スケジュールも大幅に修正しな がらの実施となりました。





参加企業の取り組み



■イオンタウン(株)・イオンタウンユニオン 店舗施設の利用や被災地の産品販売で協力しました。 「サンタが100人やってきた!2016」のイベント では毎年市長も参加し、出発式がおこなわれています。

■イオンクレジットサービスユニオン

組合員が大槌で農業、水産業などのボランティアを体験しました。

「サンタが100人やってきた!2016」へ参加しました。

- ■イオンリテール (株) 東海・長野カンパニー
- イオンリテールワーカース・ユニオン東海・長野グ・ループ

イオン 未来共創プログラムに参加し、大槌町の現状を目の当たりにし、ここで成長してゆく子どもたちのために、これまでのサンタ基金の継続が必要と判断しました。

今年もイオン九州(株)とともに釜石での「サンタが 100人やってきた!2016」に参加しました。



宮城県気仙沼市大島

テーマ: 震災を乗り越えた島で新しい価値を掘り起し、島の観光再生へ

地元気仙沼の歌人、落合直文にく緑の真珠〉と読まれた 気仙沼大島。

「震災で島は二つに別れ、亀山は炎に包まれました。 この美しい島をもう一度、<緑の真珠>として蘇らせ たい。」と観光協会の白幡会長は願っています。





イオン 未来共創プログラム 第1回「気仙沼大島コース」

期 間:10月21日~23日 参加者:17名(事務局3名)

- ■イオンプロダクトファイナンス(株)
- ■ブランシェス(株)
- ■イオンリテール(株)北関東・新潟カンパニー
- ■イオンリテールワーカーズユニオン 北関東・新潟カンパニー
- ■R.O.U (株)
- ■イオンバイク(株)
- ■イオンエンターテイメント(株)







イオン 未来共創プログラム 第1回「気仙沼大島コース」

<ゆず植樹の準備>

植樹をしたぶどうの木からワインをつくった釜石ワイン の事例をもとに2017年に予定しているゆずの植樹の 事前準備をしました。

写真は、大島の活性化につながればと土地を提供して くださった小山さま(右)と植樹の指導をしてくださ った加藤さま(左)



<ゆずの収穫作業の手伝い>





平成元年に植えた木には大きなゆずが実る





収穫したゆずは気仙沼市内の学校給食に寄付される。





築130年の小山さん宅の前で

イオン 未来共創プログラム 「気仙沼大島コース」参加企業の取り組み発表(案)

ブランシェス

- ・ユズを使った商品開発案 ユズの香りをベビー服・ベビー用品に 入れ込んではどうか。
- ・ 風景や自然をアピール 大島「小田の浜」で子供向けの水着撮影 しポスターにする。

AEONBIKE

イオンバイク

・自転車を利用した観光・イベント 島内のサイクルマップや自転車ならでは のルッキングポイントの発見。 白転車でのイベントへのノウハウや従業 員によるスタッフ支援。



イオンプロダクトファイナンス

• 大島の物産品の購入や社内の会議 • 研修 などで大島を使えないか。



R.O.U

・イオンリテール北関東・新潟との 「鉛筆プロジェクト」コラボ4年目を 迎えた鉛筆を通しての気仙沼と狭山店 のつながりに文房具を介してR.O.Uも 支援。

宮城県丸森町耕野地区

テーマ:原子力災害による風評被害と地元の産業再生支援

都会のくらしは本当に便利なの?

「耕野まちづくりセンター」の大槻さんは問いかけます。

どこで暮らしていても暮らしの「質」が問題なのだとここは教えて くれます。

そんな耕野地区には都会を離れて多くの人たちがやって来ました。





里山にもうすぐ冬が訪れる頃、家々の 軒下には黄金色の干し柿が吊るされる。 以前ならどこにでもあった懐かしい 景色です。

イオン 未来共創プログラム「丸森コース」 MV中部労組

原発事故による放射線の影響で出荷停止となっていた 特産品「たけのこ」のレシピ提案



期 間:5月25日~26日 参加者: 16名(事務局3名) マックスバリュ中部労働組合

はじめに耕野地区の現状と取り組み について「耕野まちづくりセンター」 の事務局長からお話をいただきま した。

続いて竹林に移動し、たけのこ生産 組合の前組合長から耕野地区のたけ のこづくりの歴史や、たけのこの 生産方法、種類、原発事故の影響など をお伺いしました。



イオン 未来共創プログラム 「丸森コース」

原発事故による放射線の影響で出荷停止となっていた 特産品「たけのこ」のレシピ提案

「耕野まちづくりセンター」の厨房をお借り して参加者が試作品を調理しました。 全員積極的に調理に参加し、各グループ 3品ほどの料理を仕上げています。



中にはたけのこを使ったデザートを 試作したグループもありました。 写真はマフィンをつくっているところです。







完成した料理は、10種類ほど、 地元の婦人部の皆さんやたけのこ 生産組合の方、「耕野まちづくり センター」の皆さんと一緒に試食会 を開催しました。

婦人部の方は、たけのこのお菓子に 感心したり、参加者につくり方を 聞いたりと「たけのこ」を肴に交流 が活発におこなわれていました。

耕野名産「ころ柿」の収穫と皮むきの 援農ボランティアを通した農家との交流

実施日 11月17日(木)~19日(土)

18名(10組織) 参加者

初日は、「耕野まちづくりセンター」の大槻事務局長 より丸森町の概要と耕野地区の取り組みについて、お話 を伺いました。

2日目は、いよいよ2~3名に分かれ受け入れの農家さま へ向かいます。

当日はあいにくの雨で作業は屋内の皮むきが中心と なりました。



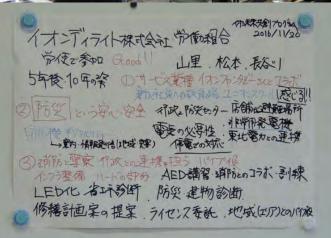


皮をむいた柿は、縄に掛けて乾燥小屋に吊るします。 一か月以上かけて乾燥し、正月前には出荷させる予定 です。氷点下の厳しい寒さが、美味しい「ころ柿」を つくります。

最終日は、耕野地区での活動をもとに各社が話し合い、 出来ることをまとめ発表します。

発表は大槻事務局長にも聞いていただき、より具体的 なものになっていきます。





「丸森コース」参加企業の取り組み・ヒアリング

/EON SUPERCENTER

イオンスーパーセンター労働組合

- 「耕野まちづくりセンター」をハブにした。 小規模農家の産直取引を計画しています。 まず「ころ柿」の取引からスタートさせ 順次、菌床栽培のキノコ、昨年原発事故後 に出荷が再開されたタケノコなどへ拡大 していく予定です。
- 新入社員による援農ボランティアを計画し ています。

今年の新入社員研修の一環として、ころ柿 の援農ボランティアに40名で参加を計画 します。



2月1日から店頭にて販売開始。 テレビの情報番組により大きく売り上げが 伸びる。



イオンディライト

イオンディライト労働組合

・独自の取り組みとして考える。 新入社員研修や組合活動など自社独自の 視点で政策に反映させて取り組みたい。

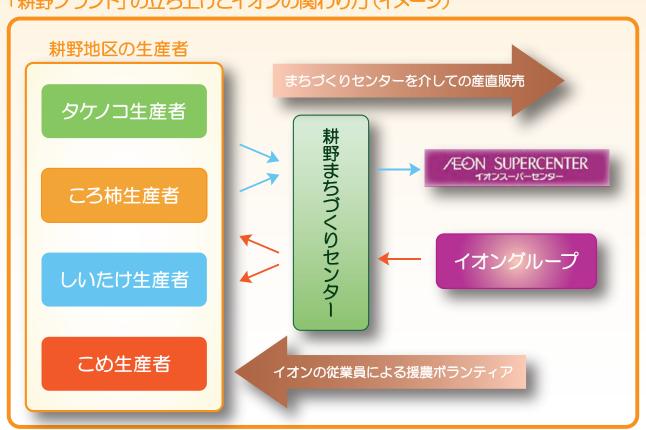
/EON イオン琉球株式会社

イオン琉球労働組合

・沖縄で情報発信 社内報やHPを通じて、従業員はもちろん お客さまへの情報発信をし、風化させない 取り組みを行う。

同様に沖縄の地域課題についても考え 取り組んでいく。

耕野まちづくりセンターをハブに 「耕野ブランド」の立ち上げとイオンの関わり方(イメージ)



福島県双葉郡浪江町

テーマ:原子力災害による浪江町が見舞われた問題をともに考える

震災から5年がすぎ、いまだにすべての町民が避難を続けている浪江町。

5年の歳月はふるさとの姿を大きく変えてしまい、人々は、どこでどうやって暮らすのかという 生き方の選択を強いられています。

「生まれた場所だけがふるさとではない」とNPO法人新町なみえの原田さんは語ります。



浪江町の現状についてお話しされる原田さま

NPO法人新町なみえの皆さまにお礼を伝える(株)光洋 平田社長

イオン 未来共創プログラム「浪江町コース」

■(株)光洋・KOHYO労働組合(6月15日~6月17日)

参加者: (株)光洋 2名

KOHYO労働組合 2名 事務局:イオン(株) 2名

> 心をつなぐ仙台事務局 2名



< プログラムの流れ >

オリエンテーション

浪江の現状を聞く NPO法人新町なみえの選択 (町外コミュニティを創る)

今の浪江を視察する NPO「JIN」の選択 浪江に戻り農業をする

なみえ焼きそば旭屋さま 別の町で事業を再開した話を聞く

町役場OB 佐藤尚弘さま なみえの経験を活かすことに ついての話をきく





- ●NPO法人「JIN」 川村さんの話 「浪江で事業を始める」
- ・ 浪江に人が集まる場所をつくりたい。
- 花卉の栽培を通して、この場所でおこなう事業の可 能性を示したい。新規の就農者が十分に暮らしてい けるだけの魅力ある農業のカタチをつくる。
- ・都内の大学生と協働し定期的に学生の研修を受け入 れ、現場で農業経営とノウハウを互いに学んでいる。
- 一方で、昨年秋の水害で農地が水没し作物に被害が 出た。その時に上流から土砂が流されてきて一時的 に放射線の値が上昇した。この場所で子どもを育て ていくのは自分でも躊躇するだろうと語る。
- ※NPO法人「JIN」では2013年から1年間、南相馬市 のサラダ農園で「イオン心をつなぐプロジェクトの 援農ボランティア」を実施しています。

イオン 未来共創プログラム 「浪江町コース」参加企業の取り組み・ヒアリング



(株) 光洋では、浪江から全国非難を余儀 なくされた方の、京都府での交流会をきっ かけに「NPO法人新町なみえ」との親交 が続いています。今回も従業員からの募金 を直接、神長倉理事長に手渡ししました。 今後も広く相双地域の被災地と関わって 支援を続けたいと思います。



従業員からの募金を贈呈する平田社長



(株) 山陽マルナカは、新たに店頭での募金 活動を実施、従業員対象の語り部の会を計画 し、浪江の現状を共有し風化に対抗します。 また浪江の方々がどのように新しいコミュ ニティを創造していくのか、祭りや地域 行事に参加しながら応援していきたいと思 います。



小高で久米さん (NPO法人浮船の里代表) からお話を伺う辻社長

福島県南相馬市小高区

-マ:2016年7月帰還解除になった町の「人口ゼロからのまちづくり」 支援



小高駅の改札を出ると迎えてくれる、 「おかえり」の文字。 それはずっとここで待っていた人が いるということ。 小高で暮らすということをきちんと 考えて待つことを選んだ人たちが いること。

小高が無くなってしまう・・・・・ でも若い人が小高を出てゆくのは、 元々、小高に魅力がなかったから・・・・・ 小高ワーカーズベースの和田さんは そう言います。 若者のための小高も必要だと。



イオン 未来共創プログラム「小高コース」

【放射能測定センター「とどけ鳥」訪問】

小高に帰ることを選んだ人も、普段食べ る食品には注意を払っています。

家の畑や近海で採れる野菜や魚を、家庭 で口にする単位で測定できる住民のため の施設を見学しました。

最初は地域の空間放射線量の測定から始 め、食品の測定に至った経緯を伺いました。





【小高ワーカーズベース和田社長のお話】

ピンチをチャンスに変える。

小高に戻るのは高齢者だけという現状に 対して、どうしたら若者が小高に魅力を 感じて、ここで暮らしていこうという 選択をしてもらえるかを考えて、果敢に チャレンジしています。

作業員の方に温かい昼食を提供したいと 始めた食堂「おだかのひるご飯」、若い 女性が感性を活かして働ける場として できた「ハリオランプファクトリー」、 小高に戻った住民が暮らすために必要な 商品を揃えた「えんがわ商店」など、 彼が小高の復興のために与えている影響 は大きいと語ります。

【NPO浮船の里 久米代表のお話】

あたりまえの日常の大切さを忘れないで イオンのボランティアが久米さまの 事務所の片づけを手伝ったのがご縁で、 地元の住民の一人としてのお話を聞か せていただいています。

久米さまは科学技術の最先端として の原発が小高の未来を奪ったのだから、 私は昔の暮らしで小高を復興させたい と、桑の葉を集め蚕を飼い、糸を紡ぎ 機(はた)を織ります。

様々な自然の植物で生糸を染めストール などを作り始めました。

避難生活が続く中、久米さまは何気ない 日常の大切さを身をもって体験したと 語ります。



第4回「小高コース」参加企業の感想取り組み・ヒアリング

✓EON イオン北海道株式会社 イオン北海道労働組合

イオン北海道(株)は開拓使時代から福島に縁のある 方が多く、応援したい気持ちも強いと感じます。 これまで福島の語り部に話を聞くなどしていますが、 今年は物産での交流を図りたいと思います。



<6次化の試み> ガーデンハックルベリーをジャムに加工する体験

✓EON イオン九州株式会社 イオン九州労働組合

イオン九州(株)は、熊本地震の経緯から、熊本の高校生 と今年新しく小高に新設される「小高産業技術高校」 の交流事業を計画しています。

熊本では、建築家の隈研吾氏が支援する人吉市の 「球磨工業高校」の高校生のアイディアをもとにした 益城町の仮設住宅での支援も計画しています。

/€○N イオンマーケット株式会社 イオンマーケット労働組合

従業員チャリティなど継続的な小高とのつながりを もちながら、自社で出来ることを模索していきます。



【小高 復活! 秋祭りに出店】

10月15日、16日に開催された秋祭りに オリジン東秀(株)、イオンファンタジー労働組合が 参加しました。地元の皆さまに大好評でした。 イオンファンタジー労働組合「子ども縁日」では、 528人もの子どもたちがヨーヨー釣りなどを楽し んでくれました。





「小高コース」参加企業取り組み



オリジン東秀(株) オリジン東秀ユニオン

小高「復活!秋まつり」 「東秀ラーメン」屋台出店

オリジン東秀の「東秀ラーメン」は大好評で、一時 は30人以上が並ぶ盛況ぶりでした。

地元の方から「美味しい」の声が続々と聞かれ屋台 のメンバーも力が入ります。

オリジン東秀の従業員も東京で食べるラーメンより 美味しいと・・・・・

「小高の水道は湧水を使ってるから」と地元の方に 教えていただき、地元の方との距離がとても近く 感じられた2日間でした。





【販売状況】

1日目 (内訳) ラーメン 198食 餃子 182食

2日目

ラーメン 304食 (内訳) 合計439食 餃子 ※餃子単品 239食 ※ラーメン餃子セット 200食

【お客さまの反応】

1. (首都圏を知るお客さま)

「オリジンさんがこんなに美味しいラーメンを 販売しているのですね。」

※首都圏で販売する以上に高評価をいただき ました。

スープの味が地元の水とあい、良い味を出し ているのかもしれません。

2. (首都圏を知らないお客さま)

「とっても美味しいラーメン店さんだけど、 普段はどちらにお店を構えているのですか。」 ※当社をラーメン専門店と思われたようです。

3. (旅館の宿泊客)

「首都圏から出店するのはすごい、がんばって くださいよ。」

4. (当プロジェクトを企画段階から知っていらっ

「厨房装備を整えてお越しになったのですね。 良いものを提供しようと必死なことが判り ますよ。」

「決めたことはやる会社で、プロジェクトメン バーに加えて、経営幹部の方が小高に出向き 接客的に地元の方と触れ合い、販売する姿が とても素晴らしい社風だ。」

/EON 2016年度 未来共創プログラム参加企業・人数

| 活動地 | 人数 | 参加企業/単組 |
|----------------|-----|---|
| 岩手県遠野市 米通地区 | 21 | ・(株)メガスポーツ ・(株)メガスポーツ労働組合 ・イオンコンパス(株) ・(株)サンデー ・オールサンデーユニオン ・イオンスーパーセンター(株) |
| 岩手県上閉伊郡 大槌町 | 9 | ・イオンタウン(株) ・イオンタウンユニオン ・イオンリテール(株) 東海・長野カンパニー ・イオンリテールワーカーズユニオン東海・長野グループ ・(株) イオンイーハート |
| 宮城県気仙沼市 大島 | 17 | ・イオンプロダクトファイナンス(株) ・ブランシェス(株) ・イオンリテール(株) 北関東・新潟カンパニー ・イオンリテールワーカーズユニオン北関東・新潟グループ ・R.O.U(株) ・イオンエンターテーメント(株) ・イオンバイク(株) |
| 宮城県丸森町 耕野地区 | 18 | ・イオンディライト(株) ・イオンディライト労働組合 ・イオン型額短期保険(株) ・イオンモール(株) ・イオンスーパーセンター(株) ・イオンスーパーセンター労働組合 ・イオンファンタジー(株) |
| 福島県南相馬市小高区 | 48 | ・イオン北海道(株) ・イオン北海道労働組合 ・イオンマーケット(株) ・イオンマーケット労働組合 ・イオン九州(株) ・イオン九州労働組合 ・イオンフードサプライ労働組合 ・イオンファンタジー労働組合 ・イオンアイビス(株) ・イオンリテールワーカーズユニオン ・イオンリテール(株) 南関東カンパニー・イオンリテールワーカーズユニオン南関東グループ ・(株)光洋 |
| 福島県双葉郡浪江町 | 23 | ・(株)光洋 ・KOHYO労働組合 ・(株)山陽マルナカ ・山陽マルナカ労働組合 ・イオンリテール(株)近畿・北陸カンパニー ・イオンリテールワーカーズユニオン近畿・北陸グループ |
| | 136 | 45 組織が参加 (ただし複数地域への参加組織あり) |



「イオン心をつなぐプロジェクト」 Webサイト 掲載中 http://kokoro.ae

【2017年度 イオン 未来共創プログラム】

イオン 未来共創プログラムは、初めてのグループ企業・労働 組合の参加をお待ちしています。

昨年参加された組織の皆さまには、取り組みを推進して いただくために独自での活動を推奨してまいります。

「未来共創プログラム」は、グループ企業・労働組合が 組織として申し込み、それぞれの得意分野を生かして 被災地の創生復興に関わっていく取組みです。

(個人での参加はできません)

2017年度は、各コース2回・計12回の実施を予定して います。各コースの参加定員は15名となります。





東北の豊かな未来のために、お客さまとともに。

www.aeon.info/environment/kokoro/